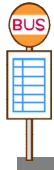


バスに乗って、出かけよう。



Happy Ride in Shizuoka Project

～2025小学生バス無料デーの実施～

ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会
(事務局：静岡県バス協会、県地域交通課)

背景と目的、目指す姿

背景

- ・少子高齢化、人口減少、モータリゼーションの普及による長期的な乗合バス利用者の減少
- ・バスドライバーの高齢化による運転手不足への危機感



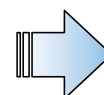
目的

- ・小学生を中心とした地域住民のバス利用の促進
- ・地域の移動手段である路線バスを将来に渡り維持するため、**社会全体で「乗って残す」意識を啓発**
- ・皆でバスに乗り合うことによる環境負荷の低減



目指す姿

- ・マイカーから地域公共交通への転換（モビリティマネジメントの推進）
- ・バスが楽しい、（無料デーでなくても）バスに乗りたい小学生の増加
- ・子どもをバスに寄せたいと思う保護者の増加



バス利用頻度の増加



2024実施結果

概要

小学生のバス利用を促進し、バス利用者の増加につなげるため、
県内全ての小学生を対象にバス無料デーを実施した。
(小学生を対象とした全県規模の実施は全国初)

項目	内容
対象者	静岡県内の学校に通う小学生 524校 約173,000名 (国公立・私立小学校、特別支援学校、外国人学校の全児童)
実施日	令和6年12月7日(土)～8日(日) 2日間
対象のバス	静岡県内を運行する路線バス・コミュニティバス (土日運休路線、高速道路走行路線等一部対象外の路線・区間あり)
主催	ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会(令和6年4月24日設置) 構成員: 国、県、市町、(一社) 静岡県バス協会、乗合バス事業者 事務局: 静岡県バス協会、県地域交通課
オブザーバー	静岡鉄道株式会社、静岡県地球温暖化防止活動推進センター

2

2024実施成果と課題

成果

- ◆無料デー当日のバス利用者は、実施の前週、翌週のいずれと比較しても増加(子どもの利用者は前週、翌週の約4倍)
- ◆バス無料デーに乗った小学生のうち、バスに乗った頻度が少ない(今までに3～5回以下)小学生が44%、1度もバスに乗ったことがない、または1～2回の乗車経験が極めて少ない小学生は15%を占めた
- ◆今度、「バス無料デー」があればバスに乗ってみたいという小学生が全学年で6割以上を占め、無料デーでなくても乗ってみたいという小学生が全学年で約8割を占めた
- ◆バスに乗った保護者等の8割以上が、バス無料デーに満足と回答、満足な理由として「子どもの経験になったから」との回答が最多
- ◆バスに乗らなかった保護者等についても、9割以上が次回は子どもを乗せたいと回答
(資料: バス事業者アンケート、小学生、保護者等Webアンケート結果)
- ◆普段マイカー利用が多い小学生及びその保護者が、無料デーにバスを利用する等、バス利用の体験機会を提供することができた
- ◆バス利用の呼びかけや小学生アンケートの実施により、バスへの意識や関心を高めることができた

【県活性化協議会(R7.3.14)有識者意見より】

将来に向けた更なる利用促進にも繋がる取組であり、効果検証しながら続けていくことが必要

3

2024実施成果と課題

課題

◆小学生の約4割が無料デーを「知らなかった」と回答

（回答者がいなかった小学校は更に認知度が低い可能性あり）

◆情報入手経路は、小学生、保護者等とも学校を通じて知った人が大半

◆当日、リーフレットを忘れた人や無料デーを知らない人が多数存在

◆バス運転士が不足している状況については、7割以上の保護者等が認知、小学生の認知度は半数以下

（資料：バス事業者アンケート、小学生、保護者等Webアンケート結果）

◆学校から児童（保護者）

への周知方法の工夫・改善や、学校以外の情報入手経路を強化する必要性

◆無料デーの実施によるバス利用の意識、行動の変化の継続的な測定及び検証

【県活性化協議会（R7.3.14）有識者意見より】

一過性のイベントで終わらせないために、持続可能なスキームの構築の必要性

4

2025実施計画

項目	内容
対象者	静岡県内の学校に通う小学生 524校 約173,000名 （国公立・私立小学校、特別支援学校、外国人学校等の全児童）※R6実績を仮置き
実施日	<u>令和7年12月13日（土）～14日（日）2日間</u>
利用方法	リーフレットをバス運転士に提示
対象のバス	静岡県内を運行する路線バス・コミュニティバス （土日運休路線、高速道路走行路線等一部対象外の路線・区間あり）
主催	ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会（令和6年4月24日設置） 構成員：国、県、市町、（一社）静岡県バス協会、乗合バス事業者 事務局：静岡県バス協会、県地域交通課
オブザーバー	静岡鉄道株式会社、静岡県地球温暖化防止活動推進センター
協賛企業・団体	<u>静鉄グループ、静岡ブルーレヴズ(株)、（一社）静岡県自動車会議所、（一社）日本自動車販売協会連合会静岡県支部</u> ※随時募集中
後援	<u>県教育委員会、静岡県私学協会</u>

5

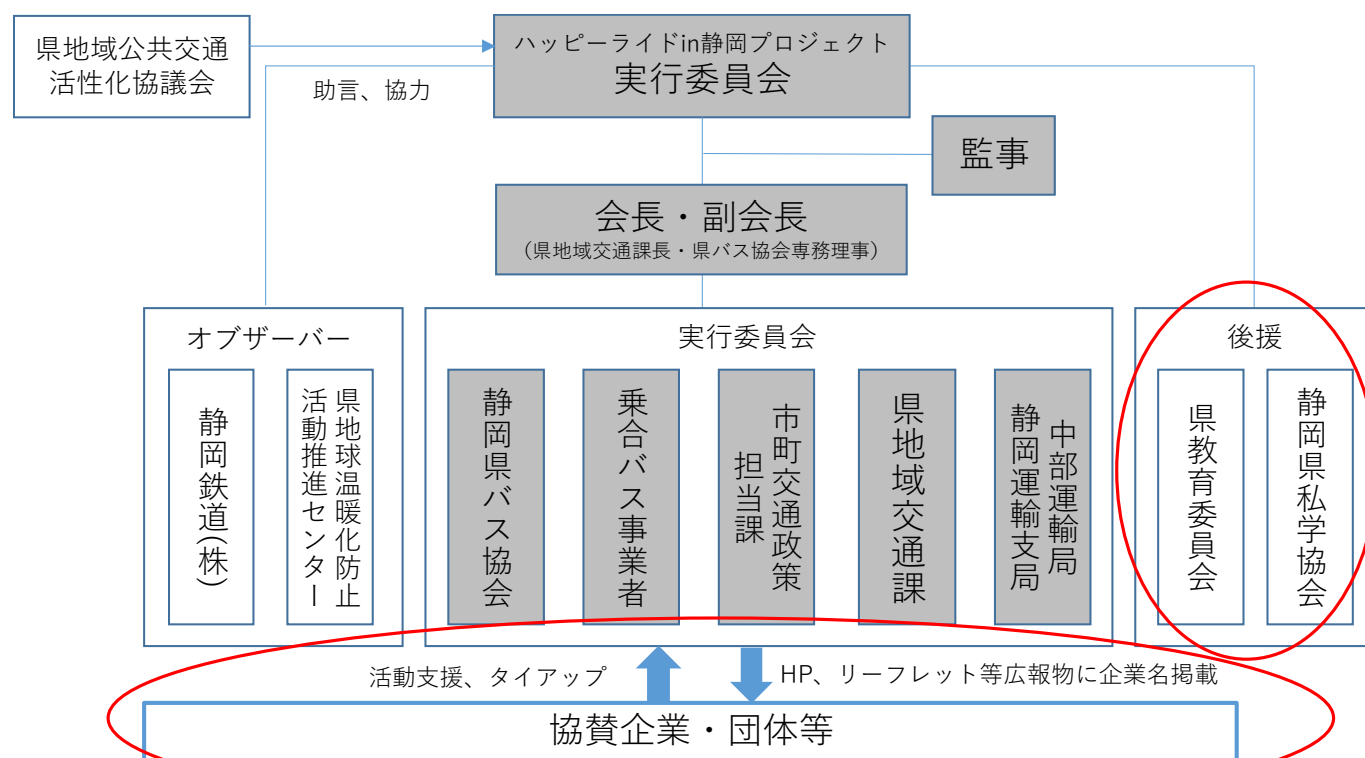
2025バス無料デーの新たな取組

内容

広報強化	◆無料デー特設サイトの開設 ◆周知用掲示物（ポスター等）の作成 ◆実行委員会構成員による一体的な広報の実施 （一斉プレスリリースの実施、車内広告、子育て支援施設、自治会回覧板等での周知等） ◆バスの日と連動した無料デーの告知 ◆大型商業施設等への広報協力依頼
実施体制	◆プロジェクトへの協賛企業・団体（スポンサー）の募集 ◆教育委員会の後援名義取得
学校との連携強化	◆授業での活用を依頼 （教材提供※～リーフレット配布～無料デー利用によるバス乗車実体験～WEBアンケート） ◆県校長会理事会での協力依頼 ※バスの乗り方やマナーを学べる動画を作成予定

6

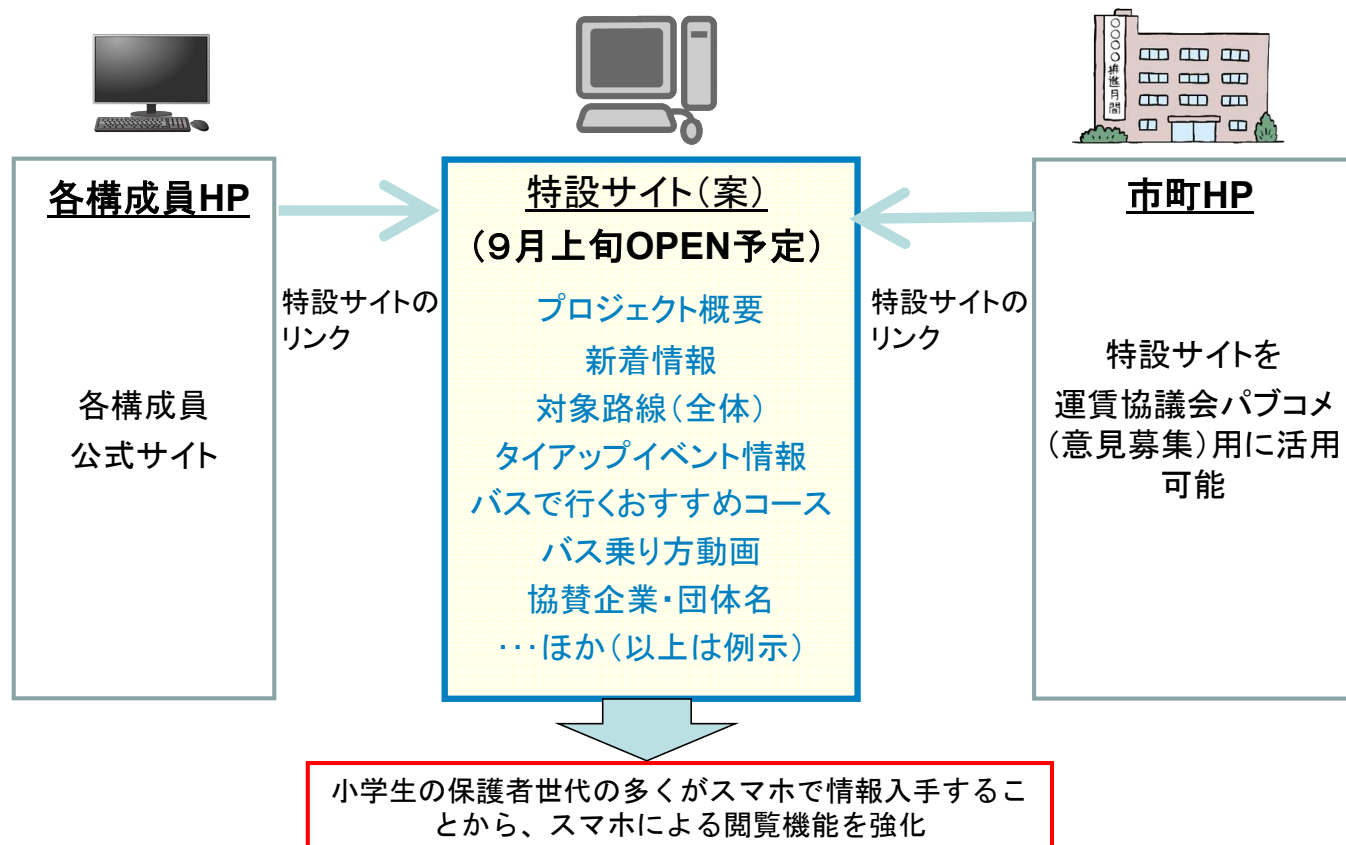
2025バス無料デーの実施体制（組織図）



7

2025広報計画～特設サイトの開設(新規)～

～特設サイトイメージ～



8

2025広報計画～バス動画制作(新規)～

制作の目的

公共交通としてのバスの必要性、乗り方やマナーを学校や家庭で学び、バス無料デーの乗車体験に結びつける。⇒バスを日常的な移動手段として使ってもらう

- 保護者の声 バスの乗り方が分からない子どもが多いので無料デーがあるとありがたい
- 学校関係者 バス通学をする生徒が多いが、地域の方からバス車内のマナーを教えてほしいとの意見が寄せられている

〈動画シナリオ案：約4分〉

	構成	構成 2
1	はじめに：バスってなんだろう？	
2	公共交通としてのバスのいいところ	安全・便利、環境にやさしい、みんなで楽しめる
3	バスはやさしい乗り物	バリアフリーの紹介
4	運転手さんのお仕事	仕事の紹介、仕事の内容、やりがい
5	静岡県内を走るバスと乗り方・マナー	静岡県内を走るバスの紹介
		バスの種類
		乗り方とマナー
6	無料デーの告知	
7	おわりに：安全に楽しくバスに乗ろう！	

周知方法 特設サイト及び構成員公式サイトに掲載、リーフレットに動画視聴QR添付、小学校に視聴を依頼

9

実施計画 スケジュール

月日	内容
5月12日	実行委員会（第1回）の開催、実施計画の決定
5月中旬	各学校長あて小学生バス無料デーへの協力依頼を発出 ※4/25県校長会理事会での説明済（県）
5月下旬～	市町地域交通会議等での説明（県）、運賃協議会での承認（市町）
6月～	実施路線の特定、タイアップイベント企画の募集
～8月下旬	周知用広告物の作成配布、特設サイト公開
<u>9月中旬</u>	<u>プレスリリース①（バスに日に合わせた一斉広報）</u>
<u>11月</u>	各学校経由で小学生に無料デーリーフレットを発送 <u>プレスリリース②（直前の一斉広報）</u>
12月13～14日	小学生バス無料デーの実施、タイアップイベントの実施
～2月	利用者アンケート等のとりまとめ（効果検証）、翌年度実施検討

実行委員会（第2回）